



希望を胸に、未知の扉をひらく一年に

校長 田名部 和美

ご入学・ご進級 おめでとうございます。

さわやかな春風とともに、活気あふれる新年度がスタートしました。新しいクラス、新しい出会いに胸を弾ませる子どもたちの姿に、私たち教職員も身の引き締まる思いです。

145名の新一年生とともに、全校児童913名でのスタートです。

私たち教職員一同、

しんじる つながる みちをひらく 新・鶴・見!

という教育目標の実現に向け、心新たに力を合わせて頑張っていきます。



先日、ある子どもが縄跳びの練習をしていました。何度も引っ掛かりながらも、繰り返し練習している姿に、「きっとできる」という自分を信じる強い心を感じました。すると近くにいた友達のリズムを取るように一緒に跳び始めました。一人の挑戦が、まわりとつながることで、孤独な練習から「学び合い」へと変わった瞬間でした。真剣な表情の中にも柔らかい笑顔が加わって、とてもほほえましく思った出来事でした。こうした日々の小さな一歩の積み重ねこそが、まだ見ぬ自分に出会う、つまり「未知をひらく」ことへの一番の近道だと考えます。この「できた」という経験が、未来を切り拓くための大きな自信という宝物になります。



正解のない時代と言われる今、大切なのは「自分の良さはここだ」と自分の力を信じる自己肯定感を基盤に、他者と対話し、協力してつながる中で、より良い答えを見付けていく力です。そのプロセスこそが、自らの手で「未知をひらく」ことにつながっていきます。

4月は期待とともに、不安も大きい時期です。まずは学校が、子どもたちにとって「自分を信じられる安心できる場所」であり、豊かな「つながり」が生まれる場所であるよう努めてまいります。

令和8年度のスタートです。今年度も、新鶴見小学校をどうぞよろしくお願いいたします。